



Otaru Municipal Hospital

市立小樽病院



小樽市立
脳・循環器・こころの医療センター



地域の総合医療センターとしての役割を果たします。

市立小樽病院



日頃、当院をご利用されている患者さま、また連携いただいている関係医療機関にご協力をお願いしていることにお礼申し上げます。

いま、当院は二つの市立病院の統合に向けて変わりつつあります。この中で当院は、これまでの特徴をさらに生かしてがん診療連携拠点病院の条件を満たすように改めてきており、他の医療機関と連携して地域の方々に良質の満足のできるがん診療を提供する体制を作ってきていることをご報告申し上げ挨拶に代えさせていただきます。

市立小樽病院 院長 鈴木 隆

■理念

- 良質の医療、信頼の医療を優しさと思いやりをもって提供する病院。
- 地域の中核医療を担う市立病院で働く職員、医療人としての使命感を持ち協調して行動する病院。

■基本方針

- 科学的でかつ良質・効率的な医療の提供を目指します。
- 医療の安全管理に最大の努力をはらいます。
- 患者さまの満足度の向上に努めます。
- 患者さまの権利を尊重し患者さま本位の人間味あふれる医療を行います。
- 市立病院は市の行政施策のひとつとして存在することを認識し行動します。
- 地域の医療機関や福祉施設等の連携等により地域完結型の医療を推し進めます。
- 医療の使命に情熱を燃やす職員集団として日々研鑽に励みます。
- 職種、診療科を超えたチーム医療に徹し病院の総合力を発揮します。
- 良質で安全な医療を提供するための経営健全化に努めます。

■診療科目

内科／外科
整形外科／形成外科
小児科／婦人科
皮膚科／泌尿器科
耳鼻咽喉科／眼科
放射線科／麻酔科

■病床数

一般病床	208床
結核病床	15床
計	223床

■入院基本料

7 対 1



小樽市には2つの特色ある市立病院があり、市民及び近隣町村の住民の生命と健康を守るために長きに渡り貢献してきました。

両病院は施設の老朽化が進み、病院機能面にも不都合が生じております。その解決には両病院の統合新築が急務であります。私はその達成のために平成21年4月から小樽市病院事業管理者に就任し、力を尽くしております。

今後も統合新築により、さらに市民に高度で質の高い医療、そして医療者に働きがいのある、快適な環境を提供できるよう努めてまいります。

小樽市病院事業管理者 病院局長 **並木 昭義**

小樽市立 脳・循環器・こころの医療センター



当院は病院名にもありますように、脳神経病変、心臓血管疾患、精神疾患の治療を専門とする施設であります。中でも、救急対応に力を入れ、小樽市内や後志地域の多くの方々に利用していただいております。

施設の老朽化により、皆様にはご不便をおかけしておりますが、今後さらに、入院環境の改善、医療機器の整備、病院スタッフの自己研鑽などを通して、地域住民の皆様の信託に応えるよう努力してまいります。

小樽市立 脳・循環器・こころの医療センター 院長 **馬淵 正二**

■ 理念

- 市民本位の医療を行い、地域に根ざした市民に信頼される病院を目指します。

■ 基本方針

- 24時間、365日、救急医療を積極的に推進します。
- 安全な医療を提供できるように、職員の安全教育を強力に推進します。
- すべての患者さまの人格、信条を尊重し、患者さまに優しい医療を提供します。

■ 診療科目

循環器内科
心臓血管外科・外科
脳神経外科
精神科
麻酔科

■ 病床数

一般病床	120床
精神科病床	100床
感染症病床	2床
計	222床

■ 入院基本料

一般病棟	7対1
精神科病棟	15対1

市立小樽病院

一緒に成長する職場



診療科紹介

内科

消化器分野では消化器病学会認定施設、消化器内視鏡学会指導施設に認定されており、消化管および肝胆膵疾患の診断と治療を行っています。特に悪性腫瘍に対しては、早期診断および内視鏡治療から化学療法、緩和医療までを一貫として行っております。その他、血液疾患、糖尿病、神経内科疾患などにも対応しております。

外科

外科は日本外科学会、日本消化器外科学会の専門医制度修練施設に認定されており、消化器や呼吸器、乳腺、甲状腺などの良性、悪性疾患の診断および外科治療を行っています。また、内痔核、下肢静脈瘤に対する硬化療法も行っています。各種癌に対する放射線治療や乳房温存術後の放射線照射も可能です。

整形外科

頸、肩、腰の痛みや、神経痛の専門医として、内服、理学療法だけでなく、各種ブロック注射、手術療法を使い分け、痛みを苦しむ患者さまの社会復帰のお手伝いをしています。

形成外科

形成外科の診療内容は、やけどその跡、良性・悪性の皮膚腫瘍、顔面のけが、あざや生まれつきの変形、褥瘡（とこずれ）、なかなか治らないけがや潰瘍、けがや手術後の傷あとなどです。お気軽に受診してください。

小児科

病院嫌いな子どもにも“おりがみの病院なら行く！”と言われ親しまれています。子どもたちが早く元気になるように、スタッフが優しく笑顔で対応致します。

急性期医療から緩和医療まで

市立小樽病院は、急性期医療病院・災害拠点病院としての役割があります。また、がん治療や緩和医療の充実を図り、地域住民の方の健康維持・増進に貢献する役割を果たしています。



婦人科

腫瘍、感染症、経口避妊薬、子宮内膜症など、婦人科疾患全般の治療を行っています。

皮膚科

北大皮膚科からの出張医が外来診察を行っています。アトピー性皮膚炎やじんましんなどの皮膚・粘膜の症状はもちろん、頭髪や爪など外から見えるところに現れた症状も、まず当科にご相談ください。

泌尿器科

泌尿器科では前立腺癌、膀胱癌をはじめ各種泌尿器科癌の診断、治療を重点的に行っています。一方、前立腺肥大症や神経因性膀胱による排尿障害や尿失禁治療、体外衝撃波結石破碎装置や内視鏡による尿路結石症治療も積極的に行っております。

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科では耳・鼻・のどの病気はもちろん、くびの腫れやめまい、顔面の麻痺も診療しています。

眼科

眼科では、全ての患者さまに常に誠意を持って、積み重ねた知識、経験、技術の提供を行い、診断治療が困難と判断した時には、適切な他施設の紹介や情報提供を行います。

放射線科

主にCT、MRIを担当する常勤放射線診断専門医が診断を行っており、地域医療連携室からの紹介症例も多く担当しています。核医学検査（SPECT）も有しており、各種画像解析が可能となっています。また、大学からの出張医により、小樽管内では唯一のがん放射線治療を行っています。

麻酔科

麻酔科は、①周術期管理（術前麻酔相談、術中管理、術後管理）、②院内外の救急治療、③疼痛治療への関与（ペインクリニック、術後急性疼痛治療、緩和医療）の3つを行っています。



褥瘡対策チームのラウンド



NSTチームのラウンド



緩和ケアチームのラウンド



ストーマ外来



小児科



内視鏡検査



腎結石破砕術



整形外科

部門紹介

看護部

私たち看護職は、患者さま個々の健康上のニーズを知り、細やかな気配りと心のこもった暖かい看護を目指しています。様々な疾病の、急性期から終末期まで、その対象となる患者さまやご家族の方たちが、持てる力を最大限に発揮できるように支援していきます。

薬局

薬局では調剤業務の他、ベッドサイドでの服薬指導や抗癌剤・IVHの無菌調製業務等、薬物療法に貢献できるように努めています。

検査科

患者さまの診断や治療のため、血液・尿などの検体を用いた様々な検体検査、心電図・脳波・聴力などの生理学的検査、及び、検査のための採血を行っています。

放射線科

後志管内唯一の治療装置リニアックを備えCT.MRI.RI.超音波の放射線科領域全てのモダリティを稼働し、放射線科診断医の下、より優れた画像を提供いたします。

リハビリテーション科

早期離床、早期回復を目指した理学療法と、生活習慣病予防のための運動指導を行っています。

栄養管理科

栄養管理科では、各疾患に対応した栄養指導を中心としてNSTや褥瘡回診など他職種と連携し活動しています。

チーム活動

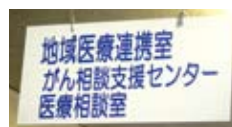
■ 褥瘡対策チーム

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡対策(予防方法・ケアの提案・褥瘡回診など)、ストーマケア(ケア指導や精神的サポート・ストーマ外来)他、院内のスキンケアの中心となって活動しています。

■ 緩和ケアチーム

がん、その他の治療困難な疾患に伴う苦痛軽減を目的に、医師・看護師・薬剤師からなる専門のチームが、適正な薬物・放射線・心理療法などを行って治療にあたります。

地域医療連携室



小樽市内と周辺地域の病院・診療所・各種施設等と連携し、地域の方が安心して自分の希望に合った医療を受けることができるように支援しています。

また、地域の医療機関に当院の医療機器を活用していただくことで地域医療への貢献に努めています。



リスクマネジメント会議



検査科



AED研修



薬局 (抗癌剤の無菌調製)



放射線科 (16列CT装置)



リハビリテーション科



ICU



薬局

小樽市立 脳・循環器・こころの医療センター



24時間・365日
救急医療を推進します



救急医療

当センターは、主に小樽・後志地区全域を対象とする第二次救急施設であり、「24時間・365日救急医療を推進する」という基本理念のもと、脳神経外科・循環器内科・心臓血管外科疾患を中心に24時間体制で脳梗塞、脳出血、頭部損傷、心筋梗塞、急性大動脈解離などの重篤救急患者の救命医療を行っています。



救急隊から患者を引き継ぎ治療を開始する (小樽市立 脳・循環器・こころの医療センター救急外来)

診療科紹介

循環器内科

■**専門領域**: 心臓病・動脈硬化性疾患 (高血圧・糖尿病・高脂血症等)・不整脈・慢性腎不全

■**専門治療**: 冠動脈カテーテル治療 (専門医2名)、ペースメーカー、透析

〈透析部門〉

診断内容: 慢性腎不全管理、内シャント作成 (心臓血管外科)、透析導入、維持透析 (原則入院なし)、合併症管理、緊急透析

心臓血管外科

狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患、弁膜症、心臓腫瘍、不整脈、胸部・腹部大動脈瘤、大動脈瘤解離、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤などの外科的治療を専門的に行っています。

心臓血管外科専門医制度修練施設認定 (専門医3名)

専門外来: 末梢血管外来、下肢静脈瘤外来、血管ドック

脳神経外科

くも膜下出血、脳出血、脳梗塞をはじめとした脳血管障害のほか、脳挫傷、硬膜下血腫、硬膜下出血などの頭部外傷、脳腫瘍、突発性水頭症、顔面まひや三叉神経痛、脊椎脊髄疾患に対する診断・治療を幅広く行っています。

外科的治療は勿論、血管内からの治療 (脳動脈瘤、頸動脈狭窄、動静脈瘻)、血栓溶解療法 (t-PA療法) も手がけています。

精神科

症状性を含む器質性精神障害 (認知症など)、内因性精神障害 (統合失調症、躁うつ病など)、環境への不適応としての精神障害 (適応障害などの心因反応、社会不安障害やパニック障害などの神経症) の疾患に対して、薬物療法、精神療法、環境調整が中心の治療を行っています。また、コ・メディカル部門も充実しており、デイケア、作業療法、心理療法 (臨床心理士)、相談業務 (精神保健福祉士) と連携しています。

麻酔科

年間、約300症例の全身麻酔を行っています。硬膜外麻酔が併用可能であれば積極的に行い、手術後の疼痛管理に用いています。麻酔深度モニター (BISなど) を導入し、全静脈麻酔 (TIVA) による全身麻酔に応用しています。



放射線科 (3-D画像処理)



術前の麻酔器点検



嚥下機能リハビリテーション



下肢静脈瘤外来
弾性ストッキング
コンタクター



循環器内科心臓カテーテル

心臓血管外科手術

脳神経外科の手術

部門紹介

看護部

患者さまの持つ回復力を高め、合併症をつくらない質の高い看護を提供すると共に、患者さまやご家族の立場を尊重し、支援者として、心のもった丁寧な看護の実践に努めています。また、看護者の「知識」と「技術」と「思い」が看護の現場で活かされるよう看護体制と教育の充実にも取り組んでいます。

薬局

患者さまのために、常にリスクの軽減に努め、安全な薬物治療に貢献することを目指しています。また、糖尿病や精神科領域等、専門的知識を持つ薬剤師が患者さまに情報を提供しています。

検査科

検体検査や生理検査、細菌検査など多岐にわたる検査を、迅速・正確そして慎重に、患者さま一人一人の治療に役立つ検査結果を出

せるよう日々努力しています。また、当院の診療科の特徴を反映し、血管系検査の充実をはかっています。

放射線科

最新高度医療機器CT・MRI・SPECT（核医学）を備え、読影・診断。血管造影装置ではIVR（脳動脈瘤コイル挿入術、心臓血管ステント挿入術、大血管ステントグラフト）の非侵襲的検査治療を行っています。

リハビリテーション科

急性期脳神経外科疾患のリハビリテーション、安静により生じる廃用症候群のリハビリテーションを行っています。できるだけ早期に立位・歩行を目指し理学療法を実施しております。

栄養管理科

治療の一環として、患者さまに満足していただける栄養・食事管理に努めています。また、入院・外来患者さまに適した栄養相談や改善指導を積極的に取り組んでいます。

地域医療連携室

地域住民の医療ニーズに応えるため、医療のみならず、保健・福祉分野との連携を図り、患者さまが安心して医療を受けられるよう環境を整え、病病・病診・各種施設等との連携を通じて、地域住民が住みなれた地域で安心して生活できるよう支援することを目的としています。

主な活動に医師をはじめ、当院の医療スタッフによる地域住民に向けてのセミナーを毎年開催し、地域の皆さまの健康づくりに取り組んでいます。



地域連携室医療フォーラム相談コーナー

医療情報管理室

診療記録の管理と内容の精査、診療情報の分類・統計などの情報管理、そしてその次の診療に役立てるために、蓄積した記録から必要な情報を抽出・分析を行っています。また、複雑化する医療情報を正しく効果的に提供することで、チーム医療に貢献できるように努めております。



チームカンファレンス

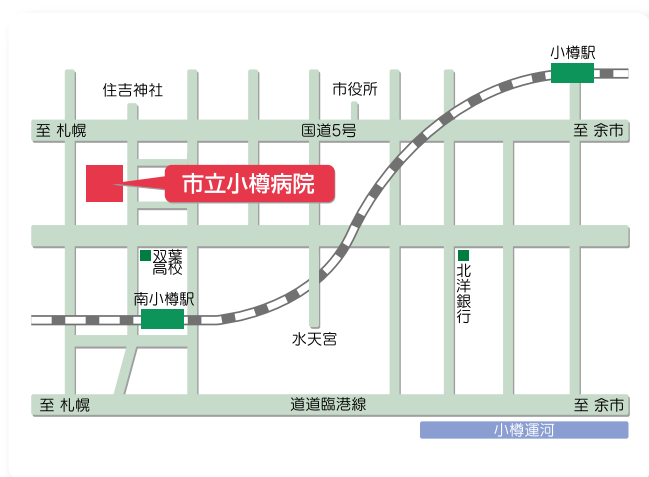
検査科（心エコー検査）

須風爛来之画廊（すぶんくのがろう）

薬局（調剤）



Otaru Municipal Hospital



市立小樽病院

〒047-8550 北海道小樽市若松1丁目2番1号
TEL: 0134-25-1211 FAX: 0134-32-6424

<http://www.med-otaru.jp/>



小樽市立 脳・循環器・こころの医療センター

〒047-0036 北海道小樽市長橋3丁目11番1号
TEL: 0134-33-4151 FAX: 0134-32-6347

<http://www.med-otaru.jp/dai2hp/>